

女衛兵長 台詞

ほう、ガラムを狩ったのか。

やあ、オーカ。

ガラム種は巨体にも拘わらず素早く、熱を伴う牙は一撃で鋼鉄製の鎧を噛み砕く。私も五年前に一度倒したただだが、まさか群れを一人で殲滅してくるとは。さすが、霧人（きりびと）というところか。

最近、かなりの数の依頼をこなしていると聞いたが、どうした。なるほど。家か。それは、ちょっと忙しいなあ。

山賊退治のような雑事は、もうやって貰えそうにないな。

いや、これは第三衛兵隊の落ち度なわけだが。

おっと、話が逸れた。

オーカ、他の三人が何処に行ったか知らないか？

△仲間がどうせ海で遊んでいると聞かされて△

彼女達らしいな。（微笑ましげに）

水泳部？

わざわざ泳ぐのに、部隊を組むのか。

オーカ達の世界は、水棲のバケモノが強力と見える。

△仲間の一人を探してくると言われて△

すまない。

私も手を貸したいのだが、第六衛兵隊は行方不明事件の調査でてんやわんやでな。